

IEI

東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人 東野高等学校
盈進学園 総務部

東野高等学校 校長 平井 廣治

2 学期を終えるにあたって

謹啓

歳末の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

夏の暑さが 10 月まで残ったかと思えば、感染症の流行が例年よりも早い時期から見られるなど、今年は秋らしさをじっくり感じる間もなく冬がやってきた印象があります。ただ、学校としては芸術 WEEK や修学旅行など、大きな行事をここまで予定通りに実施することができております。

さて、2 学期を終えるにあたって、終業式では以下のような話をいたしました。

2 学期が終わる今日、皆さんには二つの話をしたいと思います。一つ目は「平和」についてです。1 学期の終業式でも「平和」について話しましたが、今日もう一度話そうと思ったきっかけは「9 月 11 日」です。9 月 11 日は、所沢市民文化センターミュージズで盈進学園創立 100 周年・東野高等学校開校 40 周年の記念式典が開催された日です。学校内外からたくさんの方にお集りいただいたうえで、学校としてのここまでの歩みを振り返るとともに、新たな時代に向けての確かな一歩を皆さんとともに踏み出すことができたと考えています。その式典に続いて行われた大谷徹英様の講演会を覚えているでしょうか？講演の中では、「いのちを運ぶで運命 その運転手は自分」という言葉も紹介していただきましたが、私が一番印象的だったのは、大谷様が話の端々で「平和」の大切さやありがたさについて触れていらっしゃったことでした。第二次世界大戦が終結してから 80 年が経過しました。日本ではこの間、平和が続いていますが、世界に目を向ければ戦争によって今この瞬間にも多くの命が失われています。国際化の進んだ世の中において、それを他国の出来事として見向きもせず、また何も考えないのは、あまりにも世界に対して無関心過ぎると思います。自分の国だけが良ければ他国のことはどうでも良い…それはまさに第二次世界大戦を招いた考え方に他なりません。我々は、平和を享受している身だからこそ、その平和をどう広げていくのかを考えるべきなのではないでしょうか。

二つ目は「2025 年の振り返り」についてです。年末の恒例行事として、今年の世相を表す漢字が京都の清水寺で 12 月 12 日に発表されましたが、今年は「熊」でした。この字が選ばれたのは、熊による人的被害が過去最多となっていることが連日報道されたことが要因だと思います。また、わずかな差で次点だった「米」も、身近な生活に関わることで関心が非常に高まったものでした。どちらも、確かに今年を象徴する一字だなと感じました。では、皆さんが自分自身の一年を振り返り、それを漢字で表すならば、何という字を選ぶでしょうか？少し考えてみてください。

IEI

東野便り
HIGASHINO DAYORI学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

どの字が思い浮かぶかは人それぞれだと思いますが、私は「迷」という字を選びます。一般的に、「迷」という字、つまり「迷う」ということは、「判断が遅い」や「はっきりしない」などのマイナスの意味で捉えられがちです。何かを決める時、一切迷わずにスパッと決めるというのはたしかに格好良いことのようにも思えます。また、白か黒かはっきりしている方が、わかりやすいのかも知れません。ただ、実際に起きる様々な出来事に対して何らかの判断をする際、迷いなく決めるというのが常に最善なのでしょうか？もちろん、発生した出来事や問題がよくあるものかつ単純なものならば、素早くはっきりした判断を下すことは難しくないかも知れません。しかし、人間が関係して起こる出来事は、たいていが複雑な背景や状況があり、単純に白か黒かで考えることが難しいものばかりです。そうした出来事に対して何らかの判断をするには、物事を様々な角度から考えたり、もしくは他の人の意見を聞いたうえでじっくり考えたりすることが大切だと思います。最善な判断を導き出すには、それなりの時間が、そして「迷う」ことが必要です。私自身、今年は様々な判断をする際、大いに迷いましたし、これからも迷って、そのうえでその時に最善と考えるものを選んでいきたいと考えています。なお、1年生と2年生は、この冬の間に来年度のコース・科目を選択することになります。その選択は自分自身の将来に大きな影響を与えるものとなります。是非、じっくりと「迷った」うえで、自らにとって最善と思われる道を選んでください。

さて、明日からはよいよ冬休みです。冬休みの間に、2025年は終わりを迎え、2026年が新たに始まります。東野生として、2025年が「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」という建学の精神を体現できた年だったのかを各自で振り返りつつ、2026年をどのような年にしていきたいのかを考えてみてください。3年生の中には、年明けに大きな勝負を控えている人もいます。体調に気を付けながら、できる限りの努力を続けてください。皆さんが良い年末年始を送れるよう願っています。

最後になりますが、9月11日に開催させていただいた周年記念式典の際には、たくさんの保護者の皆様にもご臨席賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。今後も、先人が築き上げてきた歴史や伝統を大切にしながら、時代の流れを踏まえた教育活動を教職員一丸となって行っていきたいと存じます。保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白